

第2章 笠岡市の概要

2.1 笠岡市の概要

2.2 水道事業の概要

第2章 笠岡市の概要

2-1 笠岡市の概要

笠岡市は、岡山県の南西部に位置しています。南部には風光明媚な瀬戸内海を抱き、西部は広島県福山市、東部は浅口市・里庄町、北部は井原市・矢掛町に接しています。

地形は山に囲まれた少ない平坦地と江戸時代から続けられた埋立てや干拓された土地に主要な市街地が形成されています。海上部には大小約30の島々が飛び石状に点在しています。また河川の水量が少なく、溜池が非常に多いのが特徴です。気候は温暖小雨の典型的な瀬戸内海気候であり、地質は山地部が花崗岩質、平地部は礫岩、粘土質で構成されています。

笠岡市の歴史は古く、島々が連なる島嶼部は近畿と九州を結ぶ瀬戸内海海上交通の要衝として大きな役割を果たしてきました。北部地域は古代吉備王国時代にかかわる遺跡が多数残っています。

江戸時代になり代官所陣屋が設置されてから行政の中心地となり、港町、商業の町として栄え、明治になってからは小田県の県庁所在地として、県南西部の中核的役割を占めるようになりました。昭和26年には今井村を編入し、翌27年には金浦町と合併して笠岡市制が施行されました。

そして昭和35年までに島嶼部を含めた周辺2町10村の編入により現在の市域が形成されました。

